

日本文化研修で「芦屋釜の里、芦屋歴史の里資料館」に行きました。

九州共立大学及び九州女子大学所属の短期留学生 8 名と九州共立大学・九州女子大学・九州女子短期大学国際交流・留学生センター所属の短期研修生 6 名は、九州共立大学の留学生たちと一緒に 10 月 12 日（水）午後 1 時から「芦屋釜の里」と「芦屋歴史の里資料館」へ日本文化研修に出かけました。

「芦屋釜の里」では、毛氈に正座し、お辞儀の仕方やお抹茶のいただき方を習い、秋の季節を映した和菓子と一緒に抹茶をいただきました。初めてのお抹茶の味を美味しいと思う学生とそうではない学生がいましたが、日本の代表的な伝統文化を体験するととても良い時間が過ごせました。

また「芦屋歴史の里資料館」では、400 年前に途絶えた茶の湯の釜「芦屋釜」作りの伝統の技や時価数億円という高価さ、中国や韓国との関係などを係の方の説明で学び、山鹿貝塚から発見された巫女と思われる女性の人骨の展示もあり、重厚な歴史を実感しつつ帰校しました。

